教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 応用音楽学科　　資格： 准教授　　氏名： 永島　茜

研究分野	研究内容のキーワード
音楽企画運営（アートマネジメント）	フランス音楽政策、アートマネジメント、地域における音楽活動
学位	最終学歴
博士（学術）,修士（音楽学）	東京藝術大学大学院 音楽研究科 応用音楽学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.宮っ子おやこコンサートの開催	2020年2月22日	森の音楽会と題して、ストーリーのある音楽会とした。イベントが中止になりつつある中、対策を行って開催することができた。
2.宮っ子おやこコンサートの開催	2019年2月23日	「ゆかいな音楽会」と題し、演奏を中心とした親子コンサートを開催した。日ごろ未就学児が親しんでいると思われる音楽から、ピアノ教室で習うような楽曲、そして演奏会で演奏されるような楽曲まで、途中参加プログラムも取り入れた内容とした。
3.みんな一緒に「なごやかこんさーと」の開催	2018年02月25日	神戸市東灘区で活動するNPO法人「ちゃれんじひがしなだ」より依頼を受けて、なごやかこんさーとを開催した。声楽、サックス、民謡などを学生が披露し、来場者も参加できるプログラムを組み入れ、盛会となった。
4.宮っ子おやこコンサートの開催	2018年2月24日	西宮市民を対象として、「宮っ子おやこコンサート」を開催した。今年度は尾図の魔法使いを題材として、約600名の応募があり多数の親子連れに音楽を楽しんで頂いた。
5.兵庫県立芸術文化センターバックステージ見学	2017年05月09日	「音楽活用実習」において、アートマネジメントの現場を体験させるために、コンサートホールをはじめとする文化施設への就職を展望する学生に対し、兵庫県立芸術文化センターの大、中、小ホール及びバックヤードの見学を実施した。これにより、音楽企画制作について現実的、具体的に捉えられるようになった。
6.フランス学校参与音楽家による音楽ワークショップ演習	2017年05月	音楽活用ゼミにおいて、海外の事例を紹介するため、フランスにおける学校参与音楽家資格を有する指導者を招聘し、音楽によるコミュニケーションを中心とする音楽ワークショップの展開方法などについて指導を受ける機会を提供した。これにより音楽によるコミュニケーションについて理解を深めさせることができた。
7.宮っ子おやこコンサートの開催	2017年02月28日	学生に実際のコンサート企画・運営を経験させるために、音楽活用ゼミにおいて、未就学児を養育する西宮市民を対象としたおやこコンサートを開催した。西宮市文化振興財団より依頼を受けていることから、同市との打ち合わせなども含め、コンサート運営のみならず社会で活動することに対して、学ばせることができた。
8.宮っ子おやこコンサートの開催	2016年03月5日	西宮市文化振興財団の委託を受け、なるお文化ホールにて、音楽活用ゼミで「宮っ子おやこコンサート」を開催した。学生に実際のコンサート企画・運営を経験させるために、音楽活用ゼミにおいて、未就学児を養育する西宮市民を対象としたおやこコンサートである。西宮市文化振興財団より依頼を受けていることから、同市との打ち合わせなども含め、コンサート運営のみならず社会で活動することに対して、学ばせることができた。
9.なごやかコンサート（障がい者ボランティア）のコーディネート	2015年11月01日	NPO法人「ちゃれんじひがしなだ」が主催する障がい者を対象とするコンサートのコーディネートをした。毎年本学学部生が出演しているが、前担当教員よりそれらを引き継ぎ、次回公演への企画提案などを行った。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
10.元町ミュージックウィークへの参加	2015年10月04日	コンサート運営の実際を学ばせるため、音楽活用ゼミで招聘した（株）風月堂が主催する元町ミュージックウィークの運営に参加した。現場では、突発的な事象が発生するため、臨機応変に対応する力が付けられた。
11.兵庫県立芸術文化センターバックステージ見学	2015年06月19日	中核劇場の施設について理解させるため、音楽活用ゼミで、兵庫県立芸術文化センターのバックステージを見学した。大・中・小ホール全てを見学することで、それぞれのホールの適性や、説明を受けなければ判別できないような特殊構造について理解を深めさせることができた。
12.宮っ子おやこコンサートの開催	2015年03月07日	西宮市文化振興財団の委託を受け、フレンテホールにて、子ども（未就学児含む）を対象とする親子コンサートを開催した。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.堺市文化審議会アートマネジメント部会長	2024年6月1日2025年4月1日	堺市文化審議会アートマネジメント部会長を務めている （～現在）
2.西宮市小中学校アウトリーチ事業実行委員会委員	2022年4月1日2023年3月31日	西宮市小中学校アウトリーチ事業実行委員会委員を務め、西宮市のアウトリーチ活動について意見交換などを行った。
3.堺市文化審議会委員	2021年6月1日2025年4月1日	2021年より堺市文化審議会委員を務めている（～現在）
4.西宮市共通単位講座―フランス音楽散歩―	2017年11月1日予定～2018年1月20日	西宮市大学交流センターが主催する共通単位講座において、フランスの音楽活動について講座を担当する予定である。
5.西宮市共通単位講座―フランス芸術活動の現在―	2009年09月30日～2010年01月15日	西宮市大学交流センターが主催する共通単位講座においてフランス芸術活動に関する講座を担当した。
4 その他		
1.西宮市スポーツセンター親子で楽しくリトミック	2017年08月11日	西宮市スポーツセンターが主催する親子体操教室「親子で楽しくリトミック」において、音楽を担当する学生への活動支援を行った。
2.兵庫県立芸術文化センタースーパーキッズオーケストラへのインターン参加	2017年03月30日～2017年04月03日	佐渡裕指揮、兵庫県立芸術文化センタースーパーキッズオーケストラの震災復興支援のための熊本東北公演へ同行し、学生のオーケストラ地方公演の実地研修活動を支援した。
3.なごやかコンサート（障がい者ボランティア）のコーディネート	2015年11月01日～現在	NPO法人「ちゃれんじひがしなだ」が主催する障がい者を対象とするコンサートのコーディネートをした。これまで毎年本学学部生が出演しているが、旧担当者よりそれらの内容を引き継ぎ、次回公演への企画提案などを行った。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.認定放課後児童支援員	2019年5月24日～現在	認定資格研修終了
2.保育士	2016年10月13日	兵庫県－061826
3.中学校・高等学校一種免許状	2001年03月	中学校教諭Ⅰ種免許状（平13中1第17671） 高等学校共有Ⅰ種免許証（平13高1第18345）
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.宮っ子おやこコンサートのコーディネート	2013年04月01日～現在	西宮市からの未就学児も入場できる音楽企画を実施したい要望をうけ、親子コンサートをコーディネートした。これにより、学生にとっては音楽企画の実践的学習を行える場となり、西宮市民に対しては、未就学児が入場できる音楽会を提供することができた。
2.宮水学園―芸術は時空を超えて―	2010年01月19日	西宮市生涯学習講座「宮水学園―国際文化―」におい

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
3.ひょうご講座	2008年10月10日	て、フランスの公的芸術支援を中心に講座を担当した。 兵庫県が実施する「ひょうご講座」において「コンサート開演までの日々」と題し、音楽活用分野の講義を担当した。
4 その他		
1.オープンキャンパスにおける音楽活用の説明	2018年07月14日	人と人をつながぐ音楽を届けよう―音楽活用で学ぶこと―と題して、音楽活用専修で学ぶ内容や「宮っ子おやこコンサート」について説明した。
2.私立大阪夕陽丘学園における模擬授業	2017年07月11日	アートマネジメント分野について「音楽を届ける仕事―アートマネジメントとは―」と題して模擬授業を行った。
3.学生委員	2014年04月01日～現在	学生委員を拝命した。
4.武庫川女子大学附属高校における模擬授業	2012年02月02日	本学附属高校生に対して、共通教育授業の雰囲気を体験してもらうため「現代フランスの音楽事情」というテーマで模擬授業を行った。
5.大阪府立市岡高校における模擬授業	2010年11月11日	大阪府立市岡高校において音楽活用分野に関する模擬授業を実施した。
6.兵庫県立宝塚高校出張講義	2010年10月03日	兵庫県立宝塚高校において、「コンサートができるまで」と題して音楽活用分野についての出張講義を実施した。
7.音楽活用公開講座―舞台を支える人々―	2010年07月09日	本学オープンキャンパスにおいて音楽活用に関する公開講座を担当した。
8.兵庫県立明石高校における模擬授業	2009年07月13日	兵庫県立明石高校において「舞台を支える人々」と題して音楽活用分野に関する模擬授業を実施した。
9.広報入試委員	2009年04月01日～2011年03月31日	広報入試委員を拝命した。
10.オープンキャンパスにおける音楽活用説明	2008年07月～2017年09月	オープンキャンパスにおいて音楽活用の説明、紹介を行っている。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.生涯学習概論	共	2013年04月	理想社	文化活動と生涯学習のかかわりについての部分を執筆した。
2.現代フランスの音楽事情	単	2010年3月31日	大学教育出版	フランスの音楽政策について総合的に記述している。
3.フランス教育の伝統と革新	共	2009年03月31日	大学教育出版	フランス教育学会編、堀内達夫、夏目達也、藤井佐知子、永島茜、他 フランス教育の全体像を示す書籍であり、そのなかの「芸術教育」の部分を執筆した。音楽分野に留まらず、造形芸術や文化遺産保護、新しい芸術分野の教育についても、それらの概要を示し開設した。
2 学位論文				
1.フランス音楽政策の変遷とその新たな展開－公的関与の論理と政策理念の検討を中心として－	単	2008年03月	東京藝術大学博士学位論文	フランス音楽政策の変遷とその実態を明らかにする目的から、フランス音楽政策を体系的に解明した。併せて、国や地方公共団体による積極的な文化芸術支援の理念である「文化に対する公役務」について検討した。
2.Etude comparative du soutien public pour la musique en France et au Japon - exemple de la cite de la musique -	単	2006年06月	パリ第十大学「音楽企画の管理運営」専門課程修了論文	フランスの公施設法人「音楽都市」における音楽企画の事例を挙げながら、日本とフランスの公的音楽支援の実態と在り方について述べた。
3.フランスの音楽科教育に関する研究－学校外教育力の活用の視点から－	単	2003年03月	東京藝術大学修士論文	フランスの音楽教育について、教育課程の分析を中心に進め、そのなかで学校外の教育力（学校参与音楽家）の力が求められていることを明らかにした。このような音楽家の存在は、音楽の専門教育を受け、演奏活動を行う者が社会的役割を与えられ、活動できる道筋

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
				を示すものであり、我が国に有益な示唆を与えられると考えられる。
3 学術論文				
1.音楽アウトリーチ研究の現在ー活動が抱える課題の分析と今後の方策ー	単	2021年3月	武庫川女子大学学校教育センター紀要	活動が定着しつつある音楽アウトリーチ活動について、その研究成果を分析し、活動が抱える課題と今後の在り方について考察した。
2.音楽アウトリーチ研究の現在ー活動が抱える課題の分析と今後の方策ー	単	2021年3月	武庫川女子大学学校教育センター紀要	活動が定着しつつある音楽アウトリーチ活動について、その研究成果を分析し、活動が抱える課題と今後の在り方について考察した。
3.フランスの音楽家に求められる資質と能力 ： DUMISTEのカリキュラム及び養成内容の実例から	共	2019年3月	学校教育センター年報	本研究では，フランスの「DUMI（デュミ）」という教育職の公務員として学校において音楽を教えることのできる音楽家のための国家資格について，そのカリキュラム並びに研修内容を検討する。それらからフランスの音楽家に求められる資質と能力について考察した。そこから，音楽家には演奏能力だけではなく，DUMI が求めるように，音楽を通して創造性を持った人間形成を促すような資質や能力も重視されるのではないかと考えられた。
4.フランスのDUMI(音楽家国家資格)に求められる資質と活動 ： 資格取得者の視点を踏まえて	共	2018年3月30日	日本アートマネジメント学会	フランスのDUMI（初等教育段階で音楽教育を行うことのできる音楽家の国家資格）の養成内容を対象とし、資格取得者の視点を交えて特徴的な点や参考となる点などを考察した。
5.フランスの「現在の音楽(musiques actuelles)」にみる音楽政策の在り方（査読付）	単	2014年12月25日	『音楽芸術マネジメント』第6号、pp.49-58、2014年	フランスの現在の音楽（musiques actuelles）政策について、音楽のみならず総合的な施策として捉え、その全体像を調査研究した。
6.フランスにおける現在の音楽政策の位置づけ	単	2013年12月	『音楽芸術マネジメント』	永島茜「フランスにおける現在の音楽政策の位置づけ」、『音楽芸術マネジメント学会』、2013年12月（査読有）
7.フランスにおける「現在の音楽(musiques actuelles)」政策 －音楽政策の新たな側面-	単	2011年03月31日	『武庫川女子大学紀要人文・社会科学編』第59号、pp.125-134.	フランスの現在の音楽(musiques actuelles)政策について、その経緯並びに現状を調査研究した。
8.生涯音楽行政の可能性ー日仏の学校外音楽指導者の比較を通してー	単	2008年09月	『日本生涯教育学会論集』第29号、pp.221-230.	日本の生涯学習音楽指導員とフランスの学校参与音楽家の活動を比較し、生涯学習としての音楽活動に関わる指導者の必要性とその支援の在り方を模索した。
9.公的文化関与の理論及び制度的検討－フランスの文化に対する公役務の分析からー	単	2006年12月	『アートマネジメント研究』第7号、pp.31-41.	芸術支援における官民の役割分担について、フランスにおいて公的芸術支援の根拠とされる「文化に対する公役務」の概念から検討した。その際に、フランスにおける諸通達、歴史的判例並びに現在の事例を参考にした。これらから、公的芸術支援が充実しているといわれるフランスにおいても、「芸術への支援」という目的のみで芸術分野が公的支援を受ける法的根拠とするのは難しいことが明らかになった。
10.フランスにおける音楽政策の展開とその運営ー『文化的協力の公施設法人に関する法律』の導入からー	単	2006年03月	『文化資源学』第4号、pp.63-68.	最近のフランスにおける音楽政策の動向を探るため、2002年に導入された「文化的協力の公施設法人に関する法律」を取り上げ、実際の適用事例を含めて検討した。本法の導入によって、文化事業運営は、地方自治体間の連携による文化分野に関する公施設法人の創設が可能となった。これらから、フランスにおける文化政策の新展開が理解され、我が国への参考となることが明らかとなった。
11.フランスにおける学校参与音楽家ー音楽普及の面からの位置づけー	単	2005年03月	『季刊音楽文化の創造－音楽文化と生涯学習の総合情報・研究誌－』第36号、pp.70-73.	高等教育機関における高度専門性教育の社会への還元という観点から、フランスの「学校参与音楽家」という国家資格を対象に検討を行い、その養成システム、専門性などを我が国の状況と比較した。その結果、受けた専門教育を実地において実践することを考慮した教育方法は、我が国への示唆を与えるものであることが判明した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
12.フランスにおける芸術教育の法的基盤に関する研究―1988年芸術教育法を中心として―	単	2004年09月	『フランス教育学会紀要』第16号、pp.35-48.	フランスは、芸術文化に多くの公的支援を行っている国の代表として挙げられるが、学校における芸術教育は、不十分であると指摘されてきた。そこで、1988年に制定された「芸術教育法」をその制定過程ならびに制定後の状況を分析した。本法がフランス芸術教育に対してどのような意味を有しているのかを探った結果、芸術教育の義務化に効果があることが把握できた。
13.わが国における文化政策論の変遷－昭和10年代における出版物を中心として－	単	2004年03月	『文化経済学』第4巻第1号、pp.57-66.	昭和10年代には、文化政策に関する出版物が数点あり、これらを収集して同時代の文化政策論の変遷を辿った。
14.フランスにおける芸術教育の構造的枠組みに関する考察―国と地方の関係をめぐって―	単	2004年03月	『日仏教育学会年報』第10 号（通巻31 号）pp.179-187.（査読有）	フランスにおける地方分権の流れを受けて、中央政府と地方政府による文化政策の分担などについて検討を行った。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
1.フランス音楽政策の概要	共	2017年01月31日	アーツカウンシル東京芸術劇場研修生専門ゼミ	永島茜、柳澤藍 東京芸術劇場が実施している研修制度の研修生を対象とした専門ゼミに講師として招聘された。
２．学会発表				
1.フランスにおける「現在の音楽」政策の位置づけ	単	2013年12月21日	音楽芸術マネジメント学会	フランスの「現在の音楽」政策について、その現状を調査発表した。
2.パリ市における生涯学習としての音楽分野に対する取り組み	単	2011年11月27日	日本生涯教育学会	本学会より研究助成を受けた研究に対する報告発表である。パリ市における生涯学習としての音楽活動について現地調査に元ずく現状を報告した。現地調査では、パリ市の公民館や市町村立音楽院などを視察し、公的教育機関による音楽専門教育について調査した。
3.フランスにおける「現在の音楽」政策の開始から現在まで	単	2011年11月20日	日本音楽芸術マネジメント学会	フランスにおける「現在の音楽」に対する公的支援に焦点を当て、その開始と今日までの変遷について発表した。
4.フランス音楽政策の変遷とその新たな展開－公的関与の論理と政策理念の検討を中心として－	単	2008年03月	2007年度グローバルCOE博士論文成果報告会、於・早稲田大学国際会議場	早稲田大学グローバルCOE研究員として、2007年10月に提出した博士論文の内容を発表した。
5.公的文化事業の運営方法に関する日仏比較	単	2006年09月	日本アートマネジメント学会関東部会、於・東京国際フォーラム	国や地方自治体の関与する文化事業は、日仏ともに様々な運営方法が用いられている。例えば日本では、独立行政法人、第三セクターや指定管理者への文化施設の運営委託などがあり、フランスにおいては、営造物法人、官民共同運営、行政契約による委託等々、多様な方法が導入されている。これらの比較を行うことで、公的機関が文化に関わる意味や在り方、役割を再考した。
6.生涯学習政策における芸術文化―音楽分野を中心に―	単	2004年11月	日本生涯教育学会、於・国立オリンピックセンター	従来から生涯学習政策の対象分野として文化芸術は、重要な位置を占めている。しかし、文化芸術は文化政策の対象領域でもあり、両者には交錯している部分が存在する。その背景には、それぞれの活動を所轄する行政組織が異なることが一要因として考えられる。このことが、利用者の視点からはどう捉えられるのかという観点から、生涯学習政策における文化芸術活動振興策の在り方を考察した。
7.フランスの1980年代における芸術教育―議会文書・議事録を中心として―	単	2004年09月	フランス教育学会、於・東京学芸大学	フランスの1980年代における芸術教育政策を、その政策形成過程における論議の把握という観点から、議会文書・議事録を中心に検討を試みた。これらから、1980年代は文化政策も拡大化した時期であり、そのようななかで芸術教育政策には、「文化へのアクセスの機会を平等に確保すること」が優先課題となったことを明らかにした。
8.中村弥三次の文化政策論について	単	2004年06月	文化経済学会、於・跡見学園大学	戦前の文化政策論に目を向けると、とくに行政法学者である中村彌三次は、文化政策に関して行政法の観点から、多くの著作を残している。とくに、『新法學全集』（末広嚴太郎編集）には、文化分野が「文化行政法」として、独立した位置を与えられており、中村が

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
9.フランスの音楽政策に関する一考察	共	2004年06月	文化経済学会、於・跡見学園大学	執筆している。これらは、行政法の体系に文化分野を適用させる取組として、現代にも多くの示唆を与えるものであると考えられた。 永島茜、根木昭 昨今の我が国においては、文化政策学の体系化も漸く緒につき始めたと考えられる。それは、国の文化政策の一環として文化芸術振興基本法の制定が行われたこと、また学界においても文化政策に関する様々な議論が展開されていることなどに代表される。このような趨勢のなかで、文化政策の対象となる個別の専門分野のうち、とくに音楽に関わる分野に視点を置き、その基本的な構造について日仏比較を行った。
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.企画制作「ユネスコ市民講座・チェロとピアノによる演奏会」、於・茨城県立	単	2005年02月	水戸ユネスコ支部	文化教育機関であるユネスコ水戸支部において、市民を対象とする音楽講座を企画した。
2.企画・制作「栃木県黒磯市立厚崎中学校芸術鑑賞教室」（ヴァイオリン／ヴィオラ講座、演奏）	単	2003年5月	於・栃木県黒磯市立厚崎中学校	中学生を対象とした芸術鑑賞講座を企画立案し、演奏も行った。
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.（書評）永島茜「ジャズ界を生き抜く女性」にみる芸術の社会－才能神話、過剰社会化、無意識の惰性－」	単	2023年9月16日	図書新聞	図書新聞において、マリー・ビュスカート翻訳：中條千晴『女性ジャズミュージシャンの社会学: 音楽性・女性性・周縁化』（青土社）の書評を執筆した。
2.（翻訳）フランスにおける「現在の音楽」支援に関する報告書	単	2017年3月1日	学校教育センター年報	フランスでは、ジャズ、ロック、ポピュラー音楽などにも公的支援が行われているが、その支援に対する政府報告書を訳出した。これは、「現在の音楽」支援に対する議論の内容を理解するうえで、大変重要な史料である。
3.教職課程における器楽教育に関する実践的研究	共	2017年３月１日	学校教育センター年報、第2号、pp.71-83.	永島茜、末原諭宜、横田賢司、西本淳、奥野敬子、北口晋之、神山年子、菊萌文子 教職課程に属する講座を担当するなかで、効果的な指導法などを報告した。なお担当部分については、全体を見渡して総説とまとめを行っているため、抽出が難しい。
4.（資料提供・執筆協力）枝川明敬『地域経済社会の活性化に及ぼす文化活動の効果とその方策に関する研究	共	2007年7月	『地域経済社会の活性化に及ぼす文化活動の効果とその方策に関する研究（（財）全国勤労者福祉・共催振興協会公募研究報告書）』（財）全国勤労者福祉・共催振興協会	（協力部分：第3章第1節及び第6章1、2節） フランス文化政策についてその概要を記述した。
5.（翻訳・講演録）「フランスの文化政策と文化資源としての都市・芸術報告書」静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科『今日のフランスにおける文化政策およびそのEUにおける位置』	単	2007年1月	『ジャン＝フランソワ・シュニェ氏講演録　今日のフランスにおける文化政策およびそのEUにおける位置』、16p.	静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科『ジャン＝フランソワ・シュニェ氏講演録　今日のフランスにおける文化政策およびそのEUにおける位置』の翻訳を行った。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6.「フランスにおけるアートマネジメント教育の動向－パリ第十大学『音楽企画・管理運営専門課程』の事例から－」『日仏教育学会年報』	単	2006年3月	日仏教育学会年報』第12号、pp. 154-159.	フランスのアートマネジメント教育の実態について、留学経験に基づいてその動向を述べた。
7.（事典項目解説）「文化芸術と生涯学習」「フランスの文化政策」「研究課題・文化芸術支援の在り方」『生涯学習研究e事典』	単	2006年	日本生涯学習学会e事典（インターネットの事典のためページ表記無し）	日本生涯学習学会が運営する『生涯学習e事典』において、文化活動と生涯学習に関する解説を執筆した。
8.（図書紹介）GANVERT, Gerard “L’ENSEIGNEMENT DE LA MUSIQUE EN FRANCE : Situation -Problemes- Reflexions”, l’Harmattan, 1999, 221p.	単	2005年3月	『日仏教育学会年報』第11号、pp. 279-281.	フランス音楽教育に関する重要な文献を紹介した。
６．研究費の取得状況				
1.文化行政における経済と公益性の共生モデル－フランスの「現在の音楽」地域拠点から－		2025年4月1日	日本学術振興会科学研究費基盤研究（C）	フランスにおける「現在の音楽（musiques actuelles）」政策を対象とし、実践の場である地域拠点を調査し、事業の経済と公益性についてどのように共生しているのかを検討することで、我が国への応用を模索する。
2.フランスのDUMIをモデルとした音楽家の資質に関する研究	単	2018年4月1日	武庫川女子大学学内研究奨励金	学内の研究奨励金によりフランスの教員資格であるDUMIをモデルとして音楽科の資質について検討した。
3.フランス音楽政策の全体像-「現在の音楽」分野にみる対立と統合の構造-	単	2011年04月01日～2015年	日本学術振興会科学研究費助成金若手研究（B）継続	前年度に新規採択された研究課題に対して継続採用された。フランスの「現在の音楽」政策に焦点を当て、公的支援の実態について明らかにするとともに、政策意図をフランス社会における対立と統合の構造から検討した。
4.フランス音楽政策の全体像-「現在の音楽」分野にみる対立と統合の構造-	単	2010年04月01日～2011	日本学術振興会科学研究費助成金若手研究（B）新規	フランス音楽政策の対象領域のうち、「現在の音楽」分野に焦点を当て、公的支援の実態について明らかにするとともに、政策意図をフランス社会における対立と統合の構造から検討した。
5.フランスの公的芸術支援に関する研究-戦略としての芸術文化-	単	2009年04月01日～2011年	日本学術振興会科学研究費助成金若手研究（スタートアップ）継続	前年度に新規採択された研究課題に対する継続採用であり、引き続きフランスの公的芸術支援の実態についての調査と、フランスの国家戦略における芸術文化の位置づけを検討した。
6.フランスの公的芸術支援に関する研究-戦略としての芸術文化-	単	2008年04月01日～2009年	日本学術振興会科学研究費助成金若手研究（スタートアップ）新規	フランスの公的芸術支援の実態について調査し、芸術文化がフランスの存在感を高めるための戦略として、どのように位置づけられているかを検討した。

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2020年2月22日	おやこコンサートにおける小児がん患者支援施設「チャイルドケモハウス」への募金活動
2.2019年10月26日	財団法人音楽文化創造における講演
3.2019年2月23日	おやこコンサートにおける小児がん患者支援施設「チャイルドケモハウス」への募金活動
4.2017年02月28日	おやこコンサートにおける小児がん患者支援施設「チャイルドケモハウス」への募金活動
5.2016年03月05日	おやこコンサートにおける小児がん患者支援施設「チャイルドケモハウス」への募金活動
6.2014年～現在	日本アーツマネジメント学会
7.2012年03月	文化庁「文化活動の現状・実態等に関する調査研究」調査員
8.2010年～現在	音楽芸術マネジメント学会

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
６．研究費の取得状況	
9.2009年04月01日～2010年03月31日	滋賀大学非常勤講師
10.2009年04月01日～2010年03月31日	有明教育芸術短期大学非常勤講師
11.2007年04月01日～2008年03月31日	埼玉県和光市文化振興基本方針策定委員会委員
12.2003年～現在	日本生涯教育学会